

クラス番号	315	担当教員名	田中 優
テーマ	持続可能な地域社会へ向けたまちづくり・地域政策（ローカル・ガバナンス）についてデザインする		
著書・論文 研究課題等	著書：『学生・教職員・自治体職員・地域住民のための地域連携 PBL の実践』（単著）ナカニシヤ出版、2018 年。 :『政策実施の理論と実像』（共著）ミネルヴァ書房、2016 年。 :『ローカル・ガバメント論—地方行政のルネサンス—』（共著）ミネルヴァ書房、2012 年。 研究課題：①自治体職員における政策形成能力の育成 ②地域連携 PBL (Problem or Project Based Learning) による学生・地域住民等の変容		

ゼミナール概要

キーワード：地方自治、自治体公共政策、まちづくり、政策形成、SDG s、ローカル・ガバナンス

ゼミのねらい：

標記テーマに関する的確な文献及び資料を検索でき、それらの文献資料等を科学的根拠に基づいてレポートできることが求められます。とくに、当該セミナーの全体的な目的としては、2年間（専門演習Ⅰ・Ⅱ）を通じて、参加者の一人ひとりが今後の地域（まちづくり）政策の担い手となるために必要な問題意識・思考方法（今後の進路に関係なく求められる頭の使い方）の獲得を目指していくものとします。

授業計画・内容：

当該セミナーでは、持続可能な地域社会へ向けた＜SDG s を志向した＞まちづくり・地域政策（ローカル・ガバナンス）についてデザインを行うものとします。具体的には、キャンパスの立地する美浜町や周辺自治体の武豊町・南知多町・半田市等を題材に、グループワークの手法などをフル活用しながら、＜他人事ではない自分事としての＞望ましい自治のあり方について（問題解決的に）解き明かしていくものとします。

すなわち、各参加者には、自らの発想でもって地域（まちづくり）の政策課題を発見し、それをチームで協働的に政策提案としてまとめ、実践していくプロセスを体験していただくこととなります。

なお、3年次セミナーでは、「知識・手法の整理作業」に重点を置くとともに、「グループ活動」の楽しさ・有効性を体感するものにしたいと考えています。

担当教員からのメッセージ



エントリーシートには、志望理由や、専門ゼミで学びたいこと、やってみたいこと、ならびに、現時点での進路希望などについて書いて下さい。とにかく、身の回りの地域（まちづくり）課題に対する自らの「気づき（興味・関心）」を、仲間との「築く（解決策立案・実践）」作業に昇華させていきたい前向きな学生の皆さんを歓迎します。学園の様々なシーンを通じて、ともに楽しく学び合いましょう（日々の新聞には目を通す習慣をつけておくこと。また、休日・休暇中には、「まちづくり・政策フィールドワーク（合宿）」＜岐阜県下呂市等遠隔地＞や他大学との合同ゼミ等を行うので留意すること）。

ゼミの参考 URL

<https://www.n-fukushi.ac.jp/news/21/210830/21083002.html>